

9. 林 産

(1) 素材需要量の推移

区分 年次別	産 地			
	総 数	国 産 材		
		計	自 県 材	他 県 材
昭和55年	645	244 (37.8%)	196	48
60	412	157 (38.1%)	135	22
平成 2年	403	159 (39.5%)	138	21
7	287	109 (38.0%)	107	2
12	216	101 (46.8%)	89	12
17	181	89 (49.2%)	87	2
22	185	93 (50.2%)	70	23
27	166	84 (50.6%)	60	24
28	171	96 (56.1%)	59	37
29	130	78 (60.0%)	48	30
30	179	122 (68.2%)	85	37
令和元年	158	114 (72.2%)	87	27

資料：農林水産統計 木材統計（農林水産省 大臣官房 統計部）

注：「非公表」とは、秘密保護の観点から調査結果が公表されていない項目

(2) 素材生産量の推移

(単位：千 m^3)

区分 年次別	総 数			生 産 区 分	
	計	針 葉 樹	広 葉 樹	国 有 林	民 有 林
昭和55年	204	192	12	14	190
60	140	129	11	16	124
平成 2年	146	122	24	9	137
7	113	100	13	13	100
12	92	84	8	5	87
17	89	66	23	2	87
22	70	54	16	2	64
27	63	47	16	4	59
28	62	46	16	5	57
29	51	33	18	5	46
30	90	48	42	5	85
令和元年	92	70	22	5	87

資料：農林水産統計 木材統計（農林水産省 大臣官房 統計部）

国有林、民有林の素材生産量は、農林水産部森林課調べ

(単位：千m³)

別						用途別のうち 製材用
輸 入 材						
計	南 洋 材	米 材	北 洋 材	そ の 他		
401 (62.2%)	94	282	9	16	488	
255 (61.9%)	84	140	15	16	301	
244 (60.5%)	90	125	10	19	286	
178 (62.0%)	67	100	0	11	203	
115 (53.2%)	48	57	2	8	142	
92 (50.8%)	52	37	3	0	61	
92 (49.7%)	38	31	22	1	73	
82 (49.4%)	非公表	27	非公表	非公表	67	
75 (43.9%)	非公表	24	非公表	非公表	65	
52 (40.0%)	非公表	15	非公表	非公表	43	
57 (31.8%)	非公表	17	39	非公表	非公表	
44 (27.8%)	非公表	18	25	非公表	43	

(3) 新設住宅着工戸数

(単位：戸)

区分 年度別	計	木 造	非 木 造
平成 7年度	71,729	35,458 (49.4%)	36,271 (50.6%)
12	59,652	31,095 (52.1%)	28,557 (47.9%)
17	66,153	32,357 (48.9%)	33,796 (51.1%)
22	42,837	26,739 (62.4%)	16,098 (37.6%)
27	47,407	28,541 (60.2%)	18,866 (39.8%)
28	50,262	30,813 (61.3%)	19,449 (38.7%)
29	51,413	30,997 (60.3%)	20,416 (39.7%)
30	47,344	29,758 (62.9%)	17,586 (37.1%)
令和元年度	44,376	28,024 (63.2%)	16,352 (36.8%)

資料：建築着工状況（県土整備部 建築指導課）

注：「木造」とは主要構造部が木造のもの、「非木造」とは主要構造部が木造以外のもの

(4) 外材入荷量の推移

年度・港別		材種別	米	材	北	洋	材
昭和55年度	千葉港・袖ヶ浦港		805.3				
	木更津港		86.1				
	計		891.4				
60	千葉港		687.7	(423.5)		9.1	
	木更津港		23.2	(23.2)			
	袖ヶ浦港		112.0	(54.9)			
	計		822.9	(501.6)		9.1	
平成2年度	千葉港		855.3	(449.7)			
	木更津港		16.6	(16.6)			
	袖ヶ浦港		84.0	(47.0)			
	計		955.9	(513.3)			
7	千葉港		860.4	(231.6)			
	木更津港		8.5	(8.5)			
	袖ヶ浦港		133.3	(37.0)			
	計		1,002.2	(277.1)			
12	千葉港・袖ヶ浦港		468.7	(182.3)	17.8		(0.8)
	木更津港		12.8	(12.8)			
	計		481.5	(195.1)	17.8		(0.8)

資料：平成15年度までは木更津木材団地協同組合（木更津港）

千葉港については、千葉港湾運送事業共同組合が統計調査を廃止した。

注：昭和60年度からは、（ ）内書きで、入荷量の中の原木の数値を示す。

年次・港別		産地別	米	材	北	洋	材
平成17年	千葉港			56,541			0
	木更津港			8,152			17,531
	計			64,693			17,531
22	千葉港			14,165			0
	木更津港			5,255			13,706
	計			19,420			13,706
27	千葉港			0			0
	木更津港			6,097			18,848
	計			6,097			18,848
28	千葉港			0			0
	木更津港			11,770			21,734
	計			11,770			21,734
29	千葉港			0			0
	木更津港			4,644			27,793
	計			4,644			27,793
30	千葉港			0			0
	木更津港			6,170			28,644
	計			6,170			28,644
令和元年	千葉港			0			0
	木更津港			4,204			21,656
	計			4,204			21,656

資料：千葉県港湾統計年報（県土整備部 港湾課）

注：1）千葉県内の港湾（7港）の内、外国貿易があるのは、千葉港（国際拠点港湾）、木更津港（重要港湾）のみ。

2）用語の定義は次のとおり（出典：農林水産省 統計部 素材需給統計）

南洋材：ベトナム、マレーシア、インドネシア、フィリピン、パプアニューギニア等の南方から輸入される木材の総称。きり、リグナムバイタ、チークを除く

米材：アメリカ及びカナダの地域から輸入される材で、樹種は問わない

北洋材：ロシアから輸入される材で、樹種は問わない

その他：南洋材、米材、北洋材以外の輸入材

3）林産品のうち、原木のみを示す。

(単位：千m³)

ラワン材 (南洋材)	ニュージーランド材	その他	計
	126.5	31.9	1,091.6
0.0	0.0		86.1
127.9	126.5	31.9	1,177.7
37.2 (37.1)	1.3 (1.3)	29.7 (10.9)	765.0 (472.8)
52.7 (52.7)			75.9 (75.9)
46.3 (46.3)			158.3 (101.2)
136.2 (136.1)	1.3 (1.3)	29.7 (10.9)	999.2 (649.9)
20.4 (8.7)	17.3 (2.7)	33.5 (0.0)	926.5 (461.1)
74.1 (74.1)			90.7 (90.7)
0.0			84.0 (47.0)
94.5 (82.8)	17.3 (2.7)	33.5 (0.0)	1,101.2 (598.8)
18.4 (2.4)	21.1 (20.0)	105.8 (4.3)	1,005.7 (258.3)
57.7 (57.7)		1.7 (1.7)	67.9 (67.9)
		1.2	134.5 (37.0)
76.1 (60.1)	21.1 (20.0)	108.7 (6.0)	1,208.1 (363.2)
22.9 (1.0)	4.2 (4.2)		513.6 (188.3)
33.6 (33.6)			46.4 (46.4)
56.5 (34.6)	4.2 (4.2)		560.0 (234.7)

(単位：トン)

南洋材	その他	計
422	88	57,051
44,020	3,574	73,277
44,442	3,662	130,328
0	1,823	15,988
39,874	0	58,835
39,874	1,823	74,823
0	0	0
19,772	2,982	47,699
19,772	2,982	47,699
0	0	0
12,894	0	46,398
12,894	0	46,398
0	0	0
0	0	32,437
0	0	32,437
0	0	0
0	0	34,814
0	0	34,814
0	0	0
0	0	25,860
0	0	25,860

(5) 製材工場の推移

区分 年次別	総 数	出力階層別工場数(工場)				
		7.5kw以上 22.5kw未満	22.5kw以上 37.5kw未満	37.5kw以上 75.0kw未満	75.0kw以上 150kw未満	150kw以上
昭和55年	544	192	159	139	33	21
60	493	156	138	145	42	12
平成2年	386	94	119	122	39	12
7	334	61	115	109	35	14
12	303	49	100	109	30	15
17	243	42	75	85	31	10
22	171	25	50	55	32	9
27	126	17	47	36	18	8
28	114	23	31	30	20	10
29	111			82		29
30	101			76		25
令和元年	98			74		24

資料：農林水産統計 木材統計（農林水産省 大臣官房 統計部） 平成29年から出力階層区分が変更された。

製材品生産量は、農林水産統計 製材統計（農林水産省 大臣官房 統計部）

注：「非公表」とは、秘密保護の観点から調査結果が公表されていない項目

平成30年及び令和元年の製材品生産量については、調査が行われていない。

(6) 樹種別素材生産量・生産額

(単位＝金額：千万円、生産量：千 m^3)

種別 年次	計		針葉樹								広葉樹	
			スギ		ヒノキ		マツ		その他			
	生産量	産出額	生産量	産出額	生産量	産出額	生産量	産出額	生産量	産出額	生産量	産出額
昭和55年	204	654	114	408	14	76	61	153	3	6	12	12
60	140	301	97	212	11	41	20	41	1	2	11	6
平成2年	146	311	90	208	12	57	14	26	6	6	24	15
7	113	213	88	167	8	33	2	3	2	2	13	8
12	92	107	69	83	6	18	2	3	7	0	8	3
17	89	80	61	63	4	8	1	1	0	0	23	8
22	70	61	45	45	3	5	6	5	0	—	16	6
27	63	43	40	29	4	4	3	1	0	—	16	8
28	62	45	36	23	6	6	3	2	1	2	16	12
29	51	36	27	18	3	3	2	1	1	—	18	14
30	90	69	40	26	5	5	2	1	1	5	42	32
令和元年	92		61		7		1		1		22	

資料：生産量は農林水産統計 木材統計（農林水産省 大臣官房 統計部）

産出額は「林業産出額」（農林水産省 大臣官房 統計部）

令和元年の産出額については未発表のため掲載していない。

出力数計 (kw)	1工場当り 平均出力数 (kw)	素材入荷量 (千m ³)	素材消費量 (千m ³)	製材品生産量 (千m ³)	製材出荷量 (千m ³)
23,995	44.1	488	488	336	337
21,767	44.2	301	300	210	214
17,956	46.5	286	283	191	205
16,300	48.8	203	202	138	141
15,200	50.2	142	140	91	98
12,400	50.9	101	104	66	68
9,550	55.8	73	74	45	45
8,093	64.2	67	67	53	44
8,612	75.5	65	64	37	38
8,322	75.0	43	46	36	31
6,376	63.1	非公表	45		31
5,921	60.4	43	44		29

(7) 木材価格の推移

(単位：円/㎡)

種別 年次別	ひのき正角 10.5cm×4m 1等	すぎ正角 10.5cm×3m 1等	まつ平角 12cm×24cm×4m 1等	ひのき中丸太 4m並材 径20~28cm	すぎ中丸太 4m並材 径14~18cm	まつ中丸太 4m並材 径24~30cm
昭和55年	121,400	63,900	57,300	57,600	35,500	25,000
60	75,300	48,800	46,800	38,200	21,400	20,500
平成 2年	110,000	61,000	46,200	43,900	22,500	23,800
7	100,400	58,700	47,900	36,000	16,500	16,400
12	78,750	47,833	45,083	25,250	13,167	20,000
17	65,583	42,000	42,583	19,542	10,472	—
22	57,167	40,250	51,500	14,583	7,083	—
27	55,917	46,417	—	10,292	7,458	—
28	56,000	45,000	—	8,125	7,000	—
29	57,417	46,000	—	8,000	7,208	—
30	58,000	46,667	—	8,208	7,500	—
令和元年	58,000	50,000	—	8,708	7,333	—
平成31年 1月	58,000	50,000	—	9,000	7,500	—
2	58,000	50,000	—	9,000	7,500	—
3	58,000	50,000	—	10,000	8,000	—
4	58,000	50,000	—	10,000	8,000	—
令和元年 5月	58,000	50,000	—	9,000	7,500	—
6	58,000	50,000	—	9,000	7,500	—
7	58,000	50,000	—	8,000	7,000	—
8	58,000	50,000	—	8,000	7,000	—
9	58,000	50,000	—	8,000	7,000	—
10	58,000	50,000	—	8,000	7,000	—
11	58,000	50,000	—	8,000	7,000	—
12	58,000	50,000	—	8,500	7,000	—

資料：農林水産部 森林課調べ

注：1) ひのき中丸太の径は平成14年3月までは26~32cmの価格である。

2) すぎ中丸太の径は平成14年3月までは13~16cmの価格である。

3) すぎの正角は昭和62年3月までは10.5cm×4m 1等の価格である。

(8) 木材業者・製材業者の登録状況

① 千葉県木材業者及び製材業者登録条例

年度	区分	登録数		手数料 (円)
		木材業者	製材業者	
昭和50年度		1,313	595	1,202,400
55		1,401	588	1,273,800
60		1,270	10	5,159,000
平成2年度		46	—	200,000
7		71	—	306,000
12		852	—	4,267,000
13		56	1	304,000
14		48	2	262,000

注：「木材業者」とは、木材の生産及び販売を業とする者、「製材業者」とは、製材の生産を業とする者。平成15年度に条例を廃止

② 千葉県木材業者登録規約

年度	区分	登録数(実)	登録数(延べ)					
			素材生産	素材販売	製材	製材品販売	銘木販売	その他
平成15年度		602	100	207	220	519	131	132
17		542	100	191	197	450	145	93
22		475	82	163	173	406	122	62
27		385	76	145	129	328	102	42
28		363	73	135	122	310	95	40
29		363	72	135	120	309	96	38
30		337	70	126	105	271	88	36
令和元年度		320	69	121	102	255	86	20

注：平成15年度から千葉県木材振興協会が自主登録制度として当規約を制定

(9) ちばの木で住まいづくり支援事業

(単位：棟)

年度	事業主体				ちばの木認証 センター	計
	香取市	山武市	市原市			
平成20年度	2	—	3	—	5	
22	4	3	1	—	8	
27	5	1	0	—	6	
28	—	—	—	30	30	
29	—	—	—	35	35	
30	—	—	—	24	24	
令和元年度	—	—	—	27	27	

注：平成20、21年度はサンプスギ等のちばの木で住まいづくり支援事業。28年度から事業主体をちばの木認証センターに改変した。